

《第5次芦別市総合計画策定基礎調査資料》

芦別市まちづくり高校生・専門学校生アンケート
調査結果報告書

平成21年3月

芦別市総務部企画課

目次

調査の概要

1 調査のあらまし	1
2 回答者の属性別内訳	2

設問別調査結果

1 住みやすさ	3
2 芦別市の現状（項目別満足度）	4
3 定住意向	7
4 つきたい職業	10
5 まちづくりのキーワード	12
6 優先すべき住民サービス	14

資料

1 自由記述回答	16
----------	----

調査の概要

1 調査のあらまし

このアンケートは「第5次芦別市総合計画」の策定にあたり、高校生及び専門学校生の皆さんが市に対してどのように認識・評価し、市や自分の将来についてどのような考えを持っているのかを把握するために実施しました。

(1) 調査の方法

調査の対象：芦別高校、星槎国際高等学校及び北日本自動車大学の全生徒
(平成20年4月1日現在)

サンプル数：551人

調査方法：教諭経由にて配布・回収

調査時期：平成20年3月

(2) 回収状況

配布数：551票

回収数：453票

回収率：82.2%

(3) 集計・表記方法

集計結果は、小数点第二位を四捨五入した百分率(%)で表示し、四捨五入の誤差より、単一選択の設問(SA)であっても構成比の和が100.0%にならないことがあります。グラフや表にある記号は、それぞれ以下を示しています。

S A：選択肢の中から1つだけ選んで回答

2 L A：選択肢の中から2つまで選んで回答

3 L A：選択肢の中から3つまで選んで回答

M A：選択肢の中からすべてを選んで回答

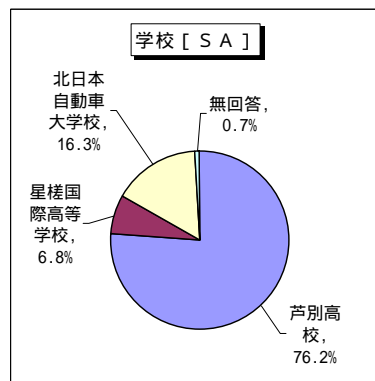
本文、グラフ及び表の選択肢の文言は、実際の調査票の文言を短縮しているものがあります。

自由記述回答については、記述事項を要約し、内容別に分類するとともに、類似回答数を()内に数値で示しています。

2 回答者の属性別内訳

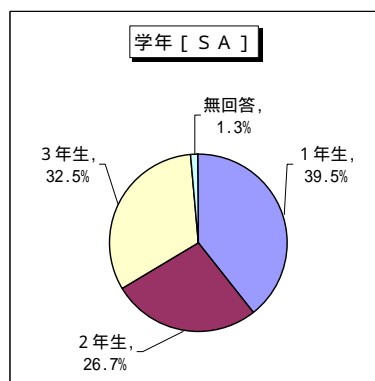
合計		453人(100.0%)
----	--	--------------

学校	芦別高校	345人(76.2%)
	星槎国際高等学校	31人(6.8%)
	北日本自動車大学校	74人(16.3%)
	無回答	3人(0.7%)

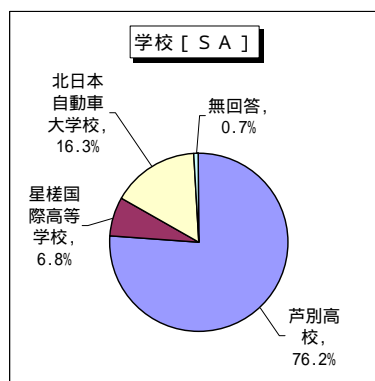


学年	1年生	179人(39.5%)
	2年生	121人(26.7%)
	3年生	147人(32.5%)
	無回答	6人(1.3%)

北日本自動車大学校については1年制及び2年制



性別	男性	264人(58.3%)
	女性	179人(39.5%)
	無回答	10人(2.2%)



設問別調査結果

1 住みやすさ

【問】芦別市は住みやすいと思いますか。あてはまる番号1つに 印をつけてください。

全体結果

芦別市の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の両者を合わせて 56.8%の学生が住みやすいと感じている。一方、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の両者を合わせて 40.2%の学生が住みにくいと感じている。

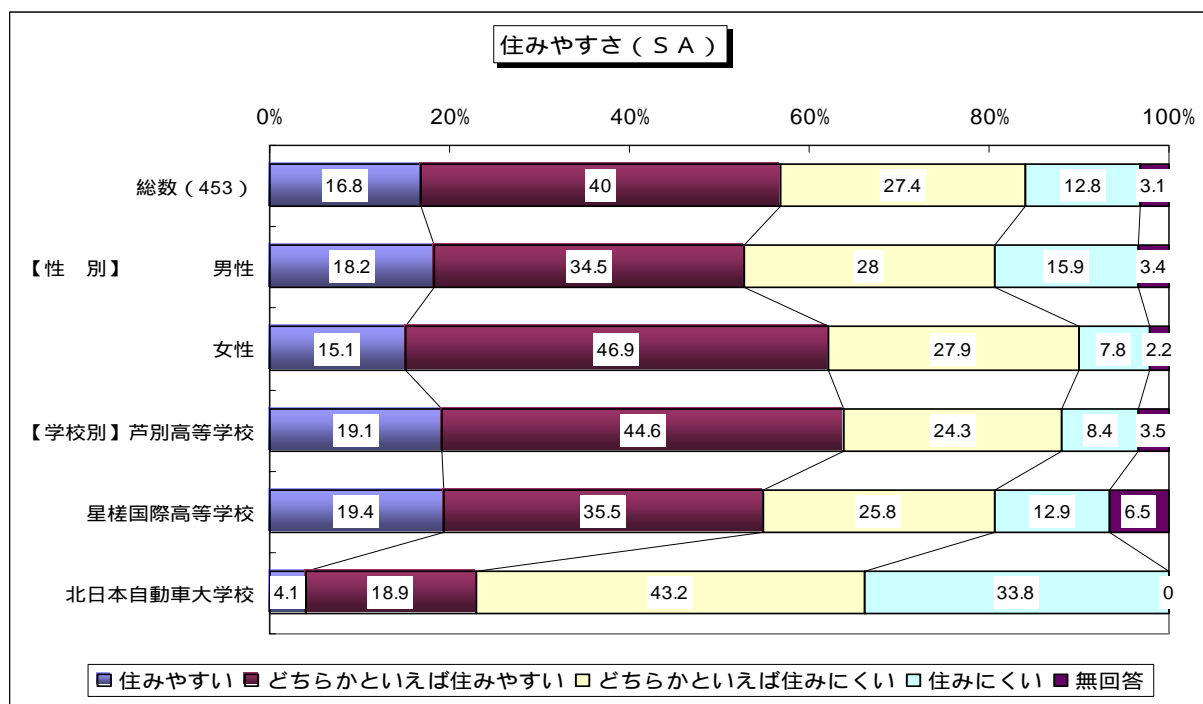
前回（平成9年）調査との比較

住みやすいと感じている人の割合

[単位：%]

住みやすさ	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
H20	16.8	40.0	27.4	12.8	3.1
H9	11.9	50.2	21.9	13.4	2.6

グラフで見る集計結果



高校生回答者の半数以上が住みやすいと回答しているが、北日本自動車大学校生では、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の両者を合わせ「住みやすい」と感じているのは23%で、77%が「住みにくい」と感じている。地元出身の在籍者数の多い芦別高等学校は「住みやすい」と感じている生徒数が多く、市外からの在籍者が多い星槎国際高等学校と北日本自動車大学校は、芦別高等学校に比べ「住みにくい」という回答が多くなっている。

市民アンケート調査と比較すると、「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」との回答は、市民が22%であるのに対して、高校生・専門学校生は40.2%となっている。

2 芦別市の現状（項目別満足度）

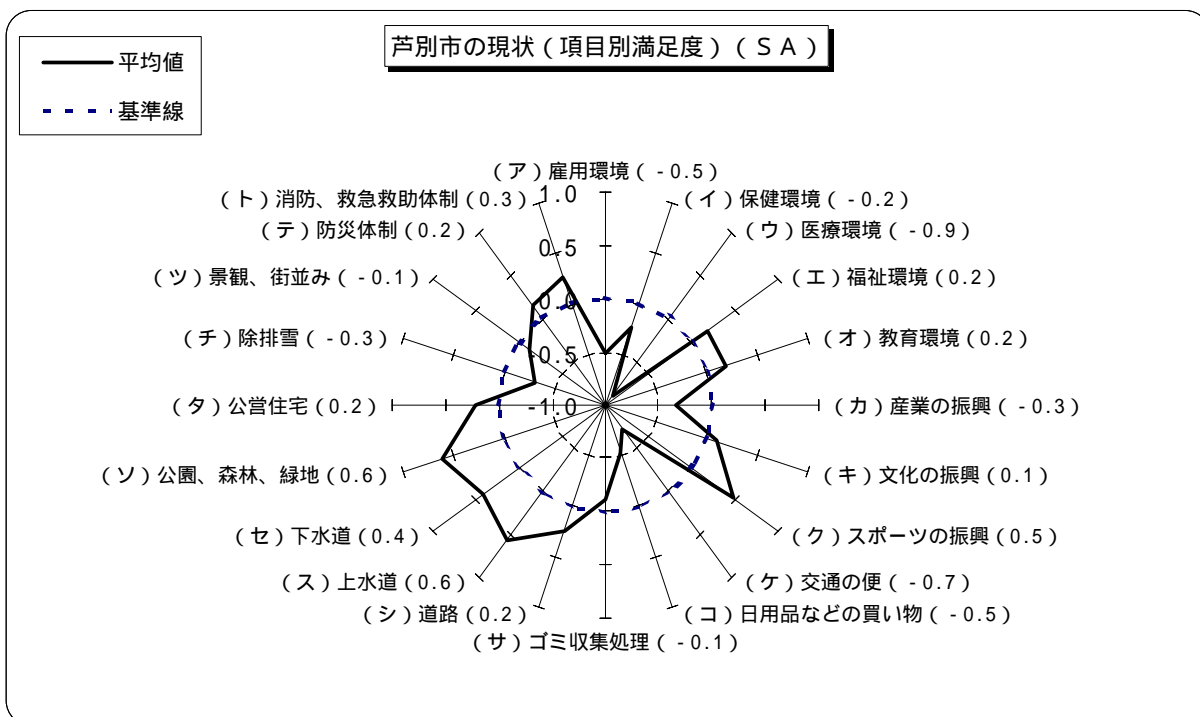
【問】芦別市の現状についてどのように感じていますか。次の各項目について、あなたのお考えに近いものそれぞれ1つに 印をつけてください。

全体結果

芦別市の現状に対する満足度は、「満足」と「やや満足」の回答を合わせて『満足』とし、「不満」と「やや不満」の回答を合わせて『不満』と判断した場合に、20項目のうち11項目が「満足」、9項目が「不満」として評価された。満足度が最も高いのは「公園、森林、緑地」と「上水道」で、以下「スポーツの振興」「下水道」「消防、救急救助体制」の順となっている。一方、満足度が最も低いのは「医療環境」で、以下「交通の便」「雇用環境」「日用品などの買い物」の順となっている。

属性別（性別・学校別）にみた場合も、全体結果とほぼ同様の結果となっており、「満足」や「不満」と感じる上位項目は全てきん差となっている。

下記の項目別満足度指標（パラメータ）をみても、「道路」「上水道」「下水道」「公園、森林、緑地」「公営住宅」などの都市基盤項目の満足度は突出して高くなっているが、「医療環境」「交通の便」「雇用環境」の項目を始め、その他の項目については全体的に低い結果となっている。



(ア) から (ト) の項目ごとに、「満足」に +2、「やや満足」に +1、「やや不満」に -1、「不満」に -2 の加重値を与え、平均値により比較しました。0 で結ぶ基準線に対して、その外側ほど満足度が高く、内側ほど不満度が高いことを表しています。

「性別」でみる項目別満足度

性別		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	男性	公園・森林・緑地	140	53.0%	道路	117	44.3%	スポーツの振興	116	43.9%
	女性	公園・森林・緑地	85	47.5%	道路	81	45.3%	スポーツの振興	74	41.3%
不満	男性	交通の便	150	56.9%	日用品などの買い物	136	51.5%	医療環境	121	45.8%
	女性	日用品などの買い物	97	54.2%	交通の便	96	53.7%	医療環境	94	52.6%

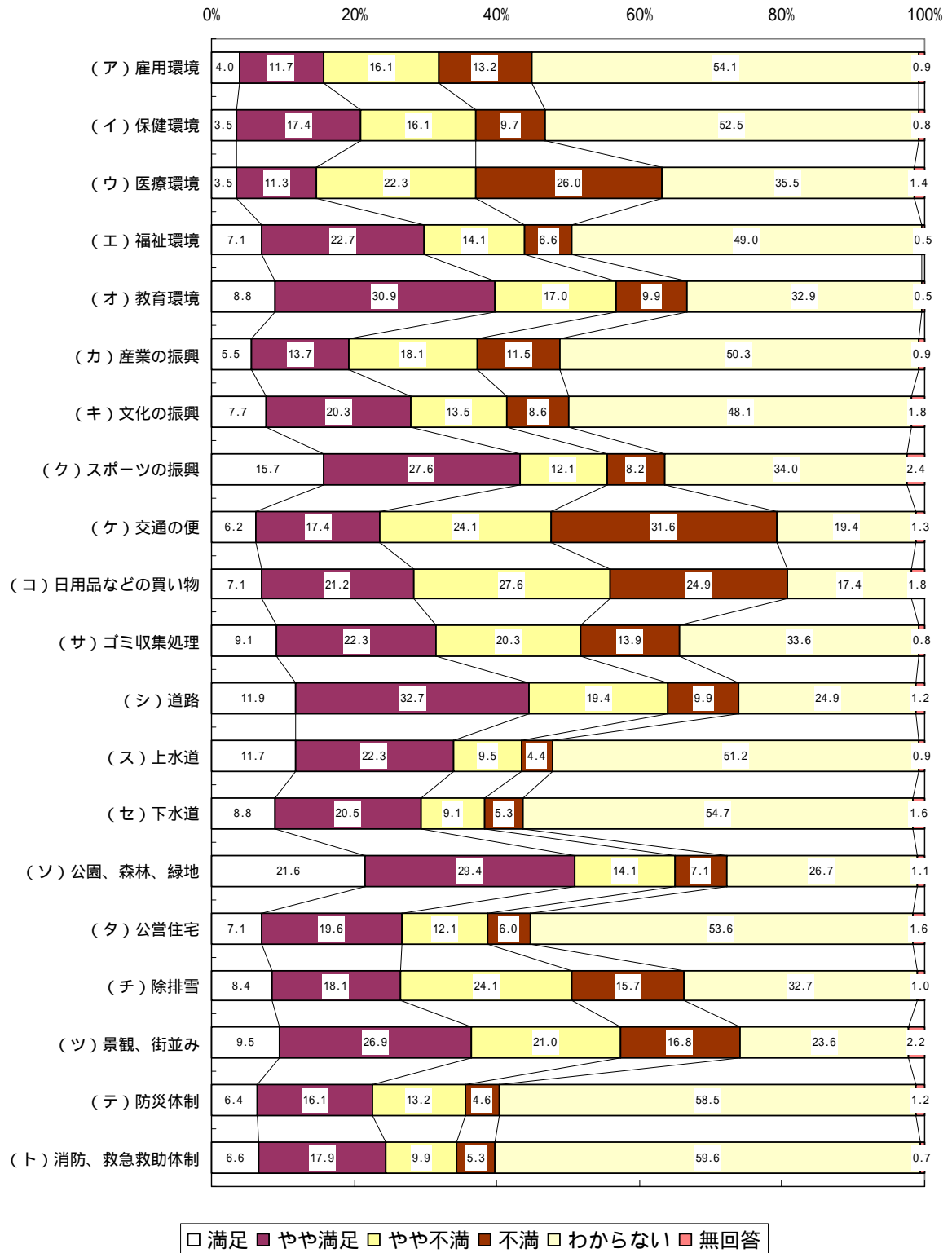
「学校別」でみる項目別満足度

性別		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	芦別高等学校	公園・森林・緑地	166	48.1%	スポーツの振興	159	46.1%	道路	152	44.1%
	星槎国際高等学校	教育環境	16	51.6%	道路	15	48.4%	公園・森林・緑地	15	48.4%
	北日本自動車大学校	公園・森林・緑地	48	64.8%	道路	33	44.6%	景観、街並み	28	37.8%
不満	芦別高等学校	医療環境	192	55.7%	交通の便	182	52.7%	日用品などの買い物	182	52.7%
	星槎国際高等学校	交通の便	14	45.2%	景観、街並み	11	35.5%	医療環境	9	29.1%
	北日本自動車大学校	交通の便	54	72.9%	日用品などの買い物	48	64.9%	道路	34	45.9%

男女別にみると、男女ともに20項目中12項目が満足となっている。男女の満足度で違いが現れたのは「ゴミ収集処理」で、男性が「満足」という結果に対して女性は「不満」、逆に「景観、街並み」では男性が「不満」という結果に対して女性は「満足」という結果となっている。

学校別にみると、芦別高校生は「公園、森林、緑地」への満足度と「医療環境」への不満度が高く、星槎国際高校生は「教育環境」への満足度と「交通の便」への不満度が高く、北日本自動車大学校生は「公園、森林、緑地」への満足度と「交通の便」への不満度が高い結果となっている。

芦別市の現状（項目別満足度）（S A）



3 定住意向

【問】学校卒業後、進学や就職などで芦別市を離れることがあると思いますが、そのような一時期の転出を除き、あなたは将来も芦別市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号1つに 印をつけてください。[芦別市居住者限定質問項目]

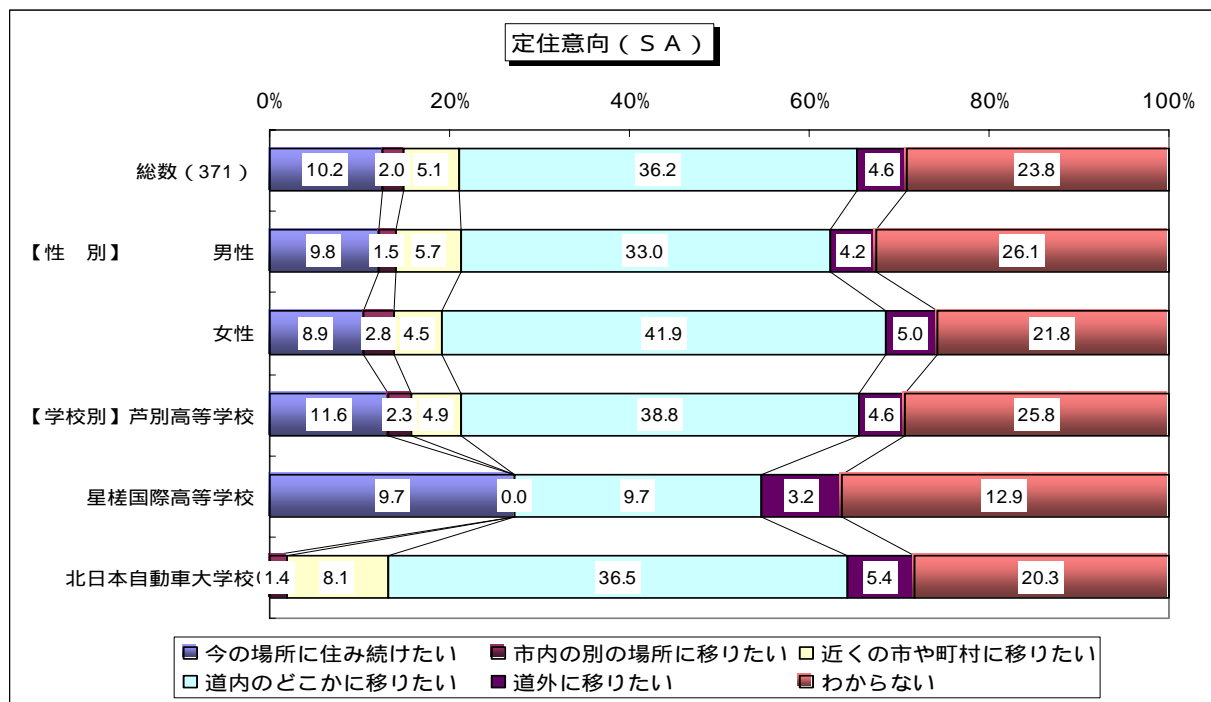
全体結果

芦別市での将来的な定住意向については、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所に移りたい」を合わせ、市内での定住を望んでいるのは12.2%にとどまり、「わからない」と回答した23.8%を除き、45.9%が市外への移住を望んでいる。移住を望む地域は、「道内のどこか」が36.2%と最も多く、具体的な住みたい場所としては、「近くの市や町村」では旭川市、「道内のどこか」では札幌市が多い。

前回（平成9年）調査との比較 - 住み続けたいと思っている人の割合 - [単位：%]

定住意向	今の場所	市内の別の場所	近くの市町村	道内のどこか	道外	わからない
H20	10.2	2.0	5.1	36.2	4.6	23.8
H9	19.1	6.5	5.6	53.1	11.6	3.0

グラフで見る集計結果



男女別に見ると、「道内のどこかに移りたい」と回答した男性は33.0%、女性は41.9%で、市外への移住希望は女性の方が高い。各校とも「道内のどこかに移りたい」との回答が最多で、北日本自動車大学校では過半数が「道内のどこか」への移住を希望している。

市民アンケート調査と比較すると、市民平均の67.9%、最も若い年代区分である「29歳以下」でも40.6%が市内での定住を望んでいるのに対し、高校生の定住意向は12.2%とかなり低い。

< 住みたい場所 >

区分	近くの市町村		道内のどこか		道外のどこか		その他	
場所	旭川市	40	札幌市	88	東京都	9	進学・就職地	3
	滝川市	6	函館市	4	大阪府	4	都会	2
	富良野市	3	帯広市	3	京都府		店がある市	
	赤平市		小樽市	2	埼玉県		人のいない所	
	深川市		千歳市		千葉県		遊べる所	
	岩見沢市		苫小牧市		富山県		自然な場所	
	奈井江町		北見市		沖縄県		ゲームセンターのある所	
	新十津川町		江別市				アパート	
			留萌市		ハワイ		一軒家	
			士別市		アメリカ		芦別以外	
		本別町						
		道東						
		十勝地方						

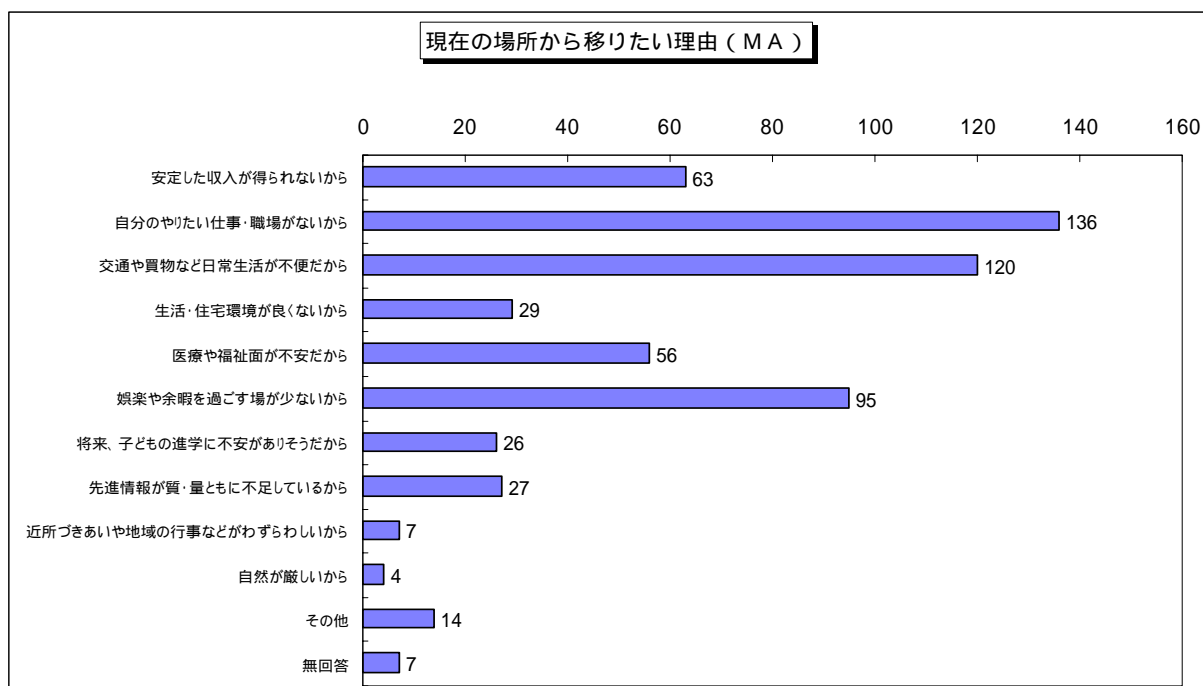
< 3 - 現在の場所から移りたい理由 >

【問】前問で市外への移住を望まれた方にお伺いします。現在の場所から移りたい理由は何ですか。主な理由を選んで番号に 印をつけてください。(複数回答可)

全体結果

市外への移住を望む理由については、「自分のやりたい仕事・職場がない」「交通や買物など日常生活が不便」の2項目が多くの高校生に挙げられ、以下「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」「安定した収入が得られない」「医療や福祉面が不安」の順となっている。生活の基本となる仕事や収入面の不安、そして日常生活の利便性や娯楽の機会の不足が指摘されている。

グラフでみる集計結果



男女別に見ると、男女ともに「自分のやりたい仕事・職場がない」「交通や買物など日常生活が不便」「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」の順となっており、女性は男性に比べて1位・2位の項目の回答比率が高い。

学校別に見ると、芦別高校生が「自分のやりたい仕事・職場がない」、星槎国際高等学校と北日本自動車大学校が「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」をそれぞれ第1位に挙げ、各校とも第1位から第3位まで「自分のやりたい仕事・職場がない」「交通や買物など日常生活が不便」「余暇や娯楽を過ごす場が少ない」となっている。

【「その他」の内容】

芦別市の財政が不安だから	一度都会に住めばわかると思います
もはや活気がなく住んでいて楽しくないから	自分に合った街並みじゃないから
仕事や学校がないから	地元が一番落ち着くから
進学が札幌だから	地元じゃないから(帰りたいから)
専門学校がないから	実家が道外だから
進学のため	家の仕事を継ぐため

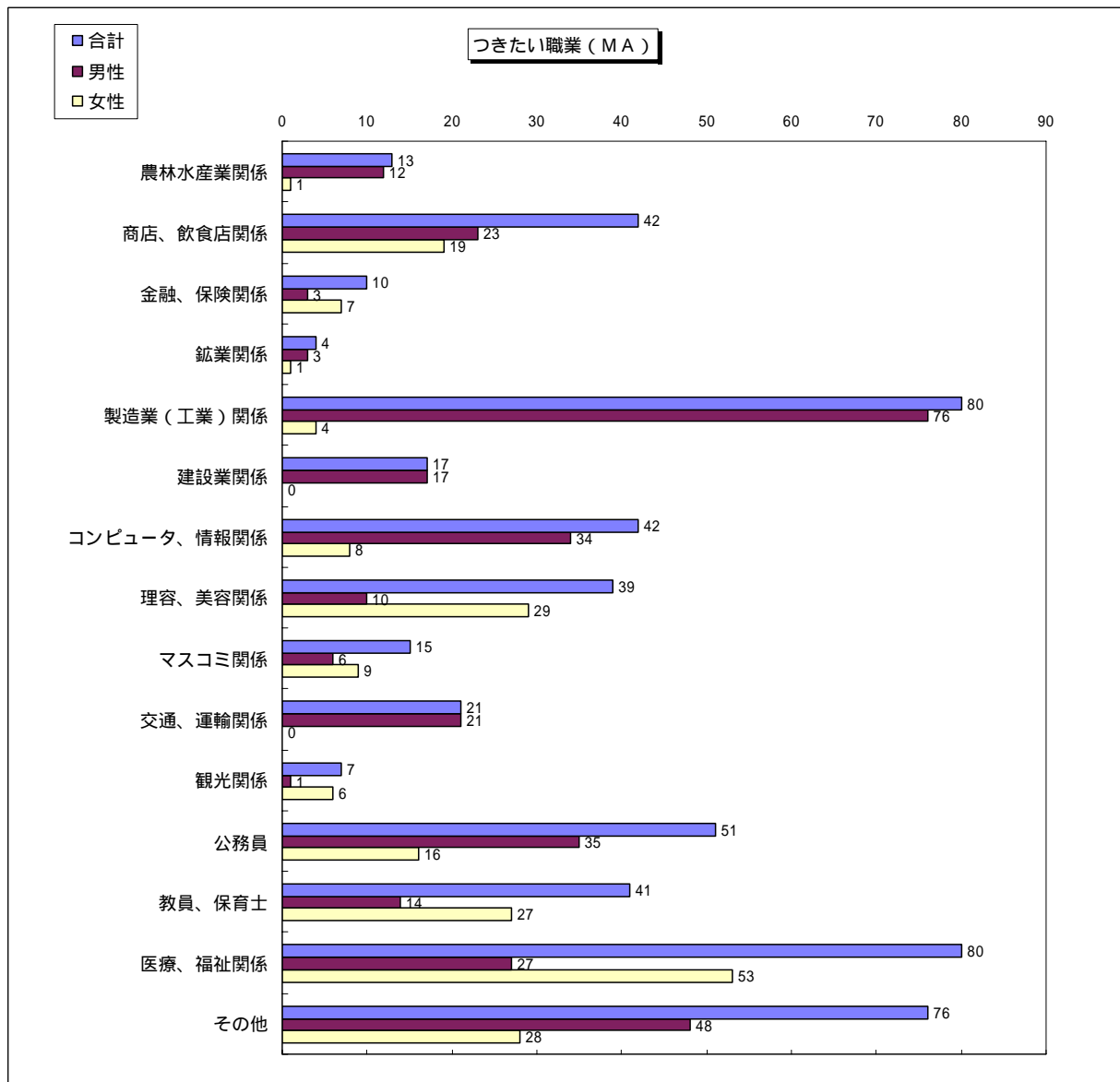
4 つきたい職業

【問】あなたは将来、どのような職業につきたいと考えていますか。あなたのお考えに近いものを選んで番号に 印をつけてください。(複数回答可)

全体結果

将来つきたいと思う仕事については、「医療・福祉関係」「製造業(工業)関係」が最も多く、「その他」がこれに続き、以下、「公務員」「コンピュータ、情報関係」「商店、飲食店関係」「教員・保育士」「理容・美容関係」の順となっている。「製造業(工業)関係」が多くなった要因は、北日本自動車大学校での回答数が大半を占めたためである。「その他」回答の多さや、全体的に回答の分散傾向がみられ、職業観の多様化がうかがえる。

グラフでみる集計結果



【「その他」の回答内容】

自動車整備士	8	マネージャー
自動車関係	6	料理人
作家、漫画家	4	プロレスラー
声優	3	ブティック関係
イラストレーター、デザイン系	3	ホテル関係
動物関係	2	コピーライター
音楽関係	2	コーディネーター
通訳	2	製菓関係
サービス関係	2	販売業
インストラクター		漁師
スポーツトレーナー		野球のできる企業（会社）
グラフィカルデザイナー		フリーター
美術系		ニート
競技車両運転手		

「性別」でみるつきたい職業

性別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
男性	製造業（工業）関係	76	21.1%	その他	48	13.3%	公務員	35	9.7%
女性	医療・福祉関係	53	23.5%	理容・美容関係	29	12.8%	その他	28	12.4%

「学校別」でみるつきたい職業

学校別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
芦別高等学校	医療・福祉関係	73	16.1%	公務員	47	10.4%	その他	45	9.9%
星槎国際高等学校	その他	10	25.0%	医療・福祉関係	6	15.0%	教員、保育士	5	12.5%
北日本自動車大学校	製造業（工業）関係	41	39.4%	その他	23	22.1%	交通、運輸関係	10	9.6%

男女別にみると、男性が「製造業（工業）関係」「その他」「公務員」「コンピュータ、情報関係」の順でとなっている。これに対して、女性は「医療・福祉関係」が第1位で突出しているほか、「教員、保育士」「理容、美容関係」が男性に比べて多いなど、男女による志向の違いが現れている。

学校別に見ると、芦別高校生が「医療・福祉関係」「公務員」「その他」、星槎国際高校生が「その他」「医療・福祉関係」「教員、保育士」、北日本自動車大学校生が「製造業（工業）関係」「その他」「交通、運輸関係」となっており、学校による志向の違いがはっきりしている。

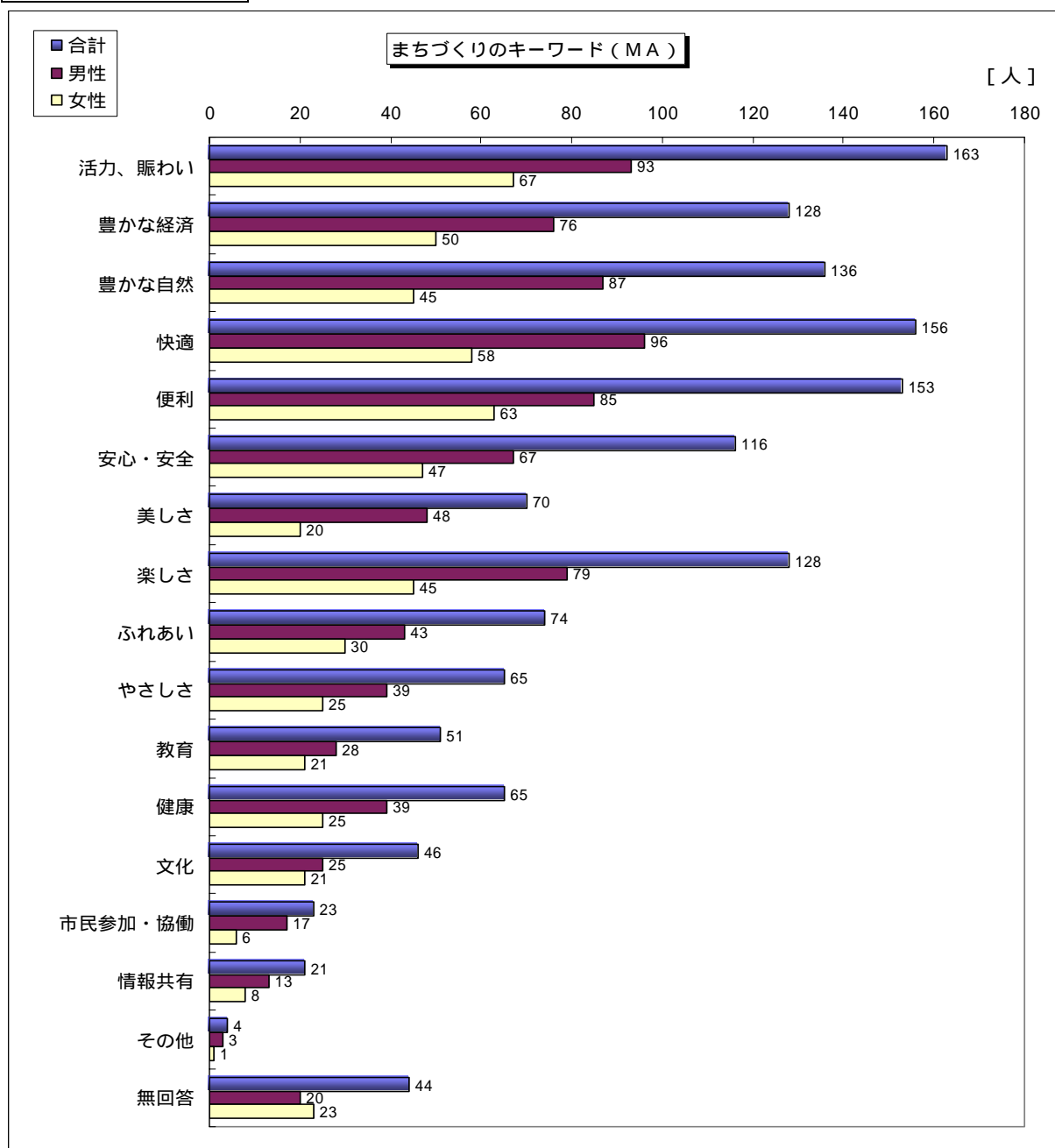
5 まちづくりのキーワード

【問】今後の芦別市の“まちづくり”を表す「言葉（キーワード）」として、あなたが重視すべきと思うものの番号に 印をつけてください。（複数回答可）

全体結果

今後のまちづくりで重視すべきキーワードとしては、「活力・賑わい」が最も多く、以下「快適」「便利」「豊かな自然」「豊かな経済」「楽しさ」「安心・安全」の順となっている。生活の基本となる「快適さ」や「便利さ」、「豊かな経済」もさることながら、まち自体の活力や賑わいを望む声が多い結果となった。

グラフでみる集計結果



「性別」でみるまちづくりのキーワード

性別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
男性	快適	96	11.2%	活力・賑わい	93	10.8%	豊かな自然	87	10.1%
女性	活力・賑わい	67	12.1%	便利	63	11.4%	快適	58	10.5%

「学校別」でみるまちづくりのキーワード

学校別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
芦別高等学校	活力・賑わい	130	12.0%	快適	113	10.4%	便利	108	9.9%
星槎国際高等学校	豊かな自然	14	12.6%	安心・安全	11	9.9%	活力・賑わい やさしさ	10	9.0%
北日本自動車大学校	便利	40	16.5%	快適	36	14.8%	楽しさ	28	11.5%

男女別にみると、男性の第1位は「快適」、女性の第1位は「活力・賑わい」となっている。各項目はそれぞれきん差であるが、回答比率でみると「豊かな自然」、「快適」、「楽しさ」、「美しさ」で男性が女性を上回り、「活力・賑わい」、「便利」、「安心・安全」では女性が男性を上回っている。

学校別にみると、芦別高校生は「活力・賑わい」、星槎国際高等学校生は「豊かな自然」、北日本自動車大学校生は「便利」が第1位となっており、各校によってさまざまな志向が現れている。また、項目別にみると、芦別高校生は「活力・賑わい」、星槎国際高校生は「豊かな自然」、「やさしさ」、「教育」、北日本自動車大学校生は「便利」、「快適」、「楽しさ」となっている。

その他の回答

愛
エキサイティング
福祉

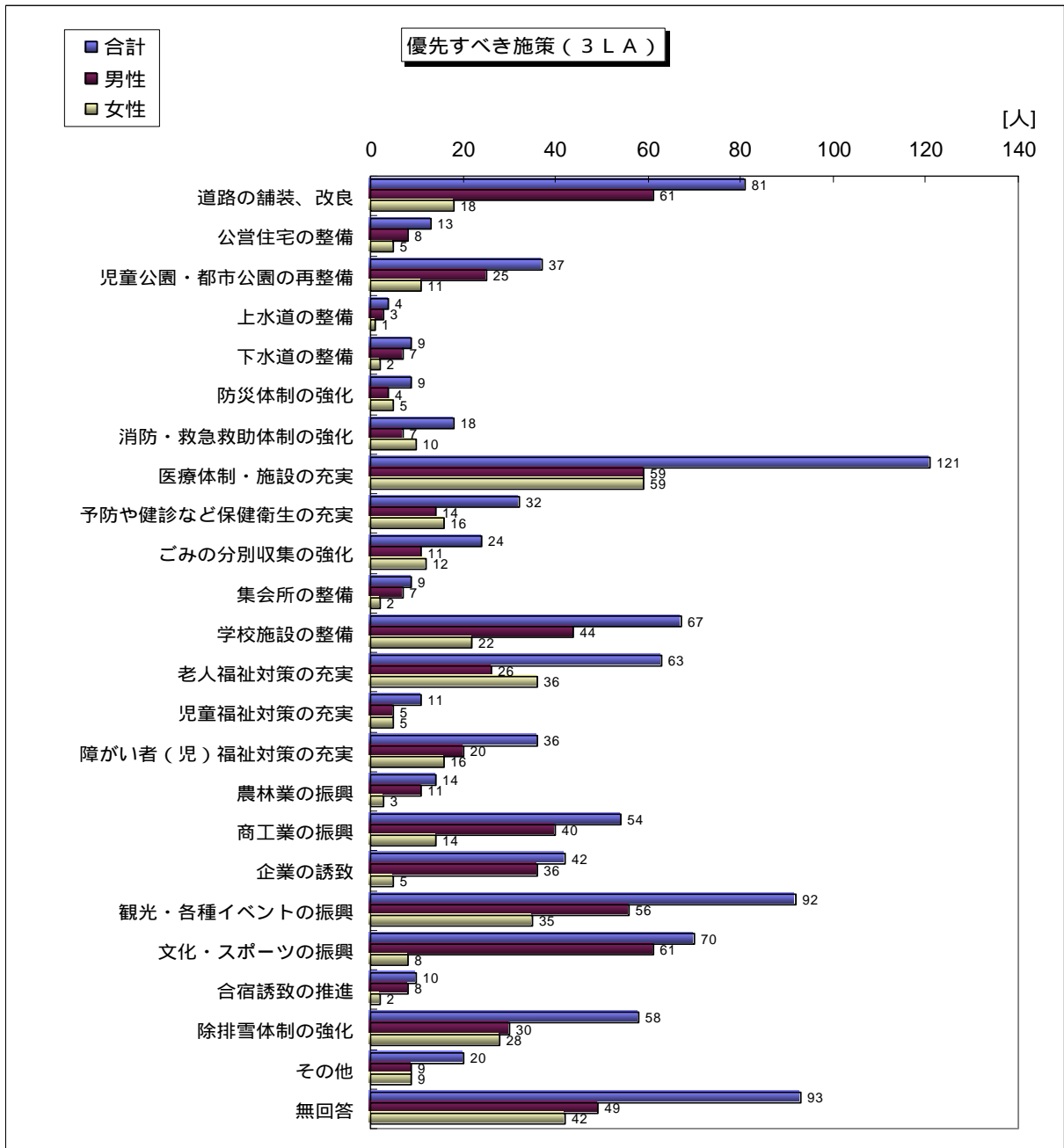
6 優先すべき住民サービス

【問】あなたは今後5年ぐらいの間に、どの住民サービスを重視して取り組むべきと思いますか。
優先すべきものを3つまで選んで番号に 印をつけてください。

全体結果

今後優先的に取り組むべき施策としては、「医療体制・施設の整備」、「観光・各種イベントの振興」、「道路の舗装・改良」、「文化・スポーツの振興」、「学校施設の整備」、「老人福祉対策の充実」の順となっているが、「医療体制・施設の整備」が突出しており、地域医療の確保・充実が望まれている。

グラフでみる集計結果



「性別」でみる優先すべき住民サービス

性別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
男性	道路の舗装・改良	61	10.1%	文化・スポーツの振興	61	10.1%	医療体制・施設の充実	59	9.8%
女性	医療体制・施設の充実	59	16.1%	老人福祉対策の充実	36	9.8%	観光・各種イベントの振興	35	9.6%

「学校別」でみる優先すべき住民サービス

学校別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
芦別高等学校	医療体制・施設の充実	99	13.1%	観光・各種イベントの振興	67	8.9%	学校施設の整備	54	7.2%
星槎国際高等学校	医療体制・施設の充実	9	13.6%	観光・各種イベントの振興	9	13.6%	老人福祉対策の充実	5	7.6%
北日本自動車大学校	道路の舗装・改良	25	15.7%	商工業の振興	17	10.7%	観光・各種イベントの振興	16	10.1%

男女別にみると、男性は「道路の舗装・改良」、「文化・スポーツの振興」、「医療体制・施設の充実」、女性は「医療体制・施設の充実」、「老人福祉対策の充実」、「観光・各種イベントの振興」の順となっており、特に上位3項目が10%前後の数値に対して、女性の「医療体制・施設の充実」が16.1%と、突出して高い数値となっている。

学校別にみると、芦別高校生は「医療体制・施設の充実」、星槎国際高校生は「観光・各種イベントの振興」、「医療体制・施設の充実」、北日本自動車大学校生は「道路の舗装、改良」が多い結果となっている。最も多い回答項目がそれぞれ異なる結果となったが、各校とも上位3項目に必ず「観光・各種イベントの振興」が入ってきている。

【「その他」の回答内容】

遊べるところ（ゲームセンター等）の建設	6
バスの利便性などの交通の見直し	4
街灯の設置など不審者対策、防犯体制の強化	2
店舗の増加	2
交通安全の強化	
情報インフラの先進整備	
工業の発展、土地、誘致	
書店の拡大	
コンビニエンスストア	

資料

1 自由記述回答

行政	規模	市なら町よりもっと大きくするようにしてほしい。	
	アンケート	もう少し(アンケートを)やさしくしてほしい。	
財政	財政	まず借金を頑張って返してください。	
まちづくり	まちづくり	協力	
他市行政	連携	芦別市内をもう少し活発化させる為に、別の市との交流などを増やし、交流した市の良い所を取り入れていけば良いと思う。	
税金・料金	公共料金	とりあえず値上がり嫌だ。何もできなくなる。	
観光・PR	PR	「芦別は何が有名ですか?」と聞かれた時困る。インパクトのあるものがない。	2
		芦別に人が来るようにアピールしてほしい。	
イベント	イベント	まち全体に活気が出るようイベントなども増やしてほしい。	2
		有名人を呼んだりして市の知名度を上げてほしい。	
交通	便	車のない人にも便利なまちになると、自然もいっぱいなどとてもすばらしいまちになると思う。	
バス	便	野花南のバス停を増やしてほしい。ふらの号の来る時間が遅い。	
		中央バスに代わる交通手段を充実させてほしい。	
		バスの時間を増やしてほしい。	
	ターミナル	バスターミナルがないと不便だと思う。	5
商業	コンビニ	学校周辺にスーパーやコンビニを増やしてほしい。	2
	デパート	デパートや大型ショッピングセンターを建ててほしい。	7
	店	お店を建ててほしい(ミスタードーナツ・マクドナルド・ファストフード店・ファミリーレストラン・アニメイト・CDショップ・しまむら・大きな書店・若者向け服屋・若者向けのお店・24時間営業のお店)	17
		寿司屋がちゃんとしていない。	
		ラーメンの美味しいところがない。	
		芦別は特に目立つ建物(お店)がないと思う。毎年このようなアンケートを書いているけど、何も変化していないしこのアンケートは本当に必要か。役に立っているか。とりあえず芦別市は高齢者に対しての施設が多くて若者向け施設が少ないつまらないまちです。今更何か建てるようなお金がないと噂で聞きました。	
経済	雇用	働く場所を増やしたら人も来ると思う。	2
道路・橋	整備	道路の整備	4
		常磐の交差点のところの段差をどうにかしてほしい。	
		北大通りを改築。	
	景観	国道が少しさみしすぎる。	
	不必要	必要じゃない道路とか造りすぎである。	
施設	娯楽施設	遊べる施設・場所(ゲームセンター・ボウリング場・映画館)を造ってほしい。	12
		パチンコ屋が多すぎる。	2
		若者が住んでて楽しめる場がないから皆どこか他のまちに行く。活気があるのはもはや学校だけだと思う。	
		芦別は暇すぎる。	
		カナディアンワールドを多くの人々が楽しく遊べる所にしてほしい。	
	その他	施設の飲食物の持ち込み禁止はやめてほしい。	
		お金の無駄になる建物などは造らない方がよいと思う。	
自然	自然	自然を大切にしていきたい。	
環境	きれいな町	芦別を明るく楽しくきれいにし、誰もが暮らしやすくできるように。	
		もっとマチをキレイに!	
公園	遊具・設備	公園とかに砂場をつくってほしい。	
医療	医療	医療を充実させてほしい。	3
防犯	街灯	暗い道の所に街灯をつけてほしい。	
元気(活気)	明るいイメージ	もうちょっとまちがにぎやかなになったら、まちの中が明るくなっていくのかなと思う。	
	活気	活気のあるまちにしてほしい。	
励まし	励まし	頑張れ芦別・頑張ってください	7
		誰が市長になろうと一緒に言われている。もう少し頑張ってください。	
その他	その他	芦別じゃないけど赤平にもう希望はない。今のまちに期待していない。	
		芦中男子の頭の悪さを何とかしてください。私を市長にしてください。	
		不良をなくす。	

芦別市まちづくり高校生・専門学校生アンケート
- 調査結果報告書 -

発行：芦別市

〒075-8711 北海道芦別市北1条東1丁目3番地

0124-22-2111

編集：芦別市総務部企画課まちづくり推進係